

(第3種郵便物認可)

10月29日(木)

2020年(令和2年)

発行所

新日本海新聞社  
大阪本社

〒大阪府北区中津6-7-1  
電話(06)6454-1101(代表)  
FAX(06)6454-1400

記事・情報提供は

編集(06)6454-7056

大阪の広告は

営業(06)6454-7058

鳥取・山陰地区の広告は

(06)6454-7055

配達・購読は

販売(06)6454-7057

朝刊1部 100円

さらにお得な月極め1カ月

2,050円

(本体1,899円+消費税151円)

購読申込専用フリーダイヤル

☎0120-728-468

# 大阪毎日新聞

# 的に向かって集中 子どもら射撃体験



ルールを守りながら射撃に挑戦する子どもら

浪速区  
アリーナ大阪で開かれた。子どもらがルールやマナーを学び、的に向かって集中し、真剣な表情で射撃に取り組んだ。

浪速区



五輪競技の近代五種に関心を持ってもらおうと、競技種目の一つ「射撃」の体験教室が25日、浪速区のエディオン

体験教室は、日本近代五種協会が2018年から全国で実施。今年は新型コロナウイルス禍で春先から中止が続いた上で開催にこぎ着けた。

(北野保司)

た。

日本近代五種協会理事で近代3種委員長の星野和博さんが「射撃は心のスポーツ。当てるよと考えるのではなく、精神を統一し無心でやれば上達する」とアドバイス。日本エアスポーツガン協会事務局長の鈴木宏一さんが「銃口の管理」「引き金の引き方」などを丁寧に指導した。

子どもらは、ジュニアの大会などで使用されるエアガンを手に取り、腕の角度や照準の合わせ方を確認。約5分先に設置された直径約6センチの的を狙い、的が倒れるたびに顔をほころばせ、競技の魅力を感じていた。

大阪府民体育大会「近代2種・バイアスロン競技大会」小学生の部で優勝経験のある山下里一郎さん(11)「吹田市」は「コロナですつと練習できず、久しぶりだったので楽しめた」。野球や剣道を習っている清水勝行さん(10)「佳吉区」は「的が倒れたときの達成感が楽しい。またやってみよう」と声を弾ませていた。